

戦前のD-28の鳴りとルックスを復刻させたヴィンテージ仕様。



ナット幅
4.29cm

フィンガーボード長
45.4cm

ネック幅
5.39cm
(12フレットで計測)

全長
102.3cm

ボディ幅
39.8cm



重量
2.06kg



ボディ厚1
9.7cm

ボディ厚2
12.4cm

Martin

HD-28V

価格：56万円(税抜)

ここからは、名器ぞろいと言われた時代のマーティンを復刻させた、マーキスコレクションに属するモデルを紹介する。まずはHD-28V。戦前につくられたD-28を彷彿させる仕様が特徴的な1台だ。細部情報は下記に譲るとして、音色で触れておきたいのは、先のD-18同様、フォワードシフトドスキャロップドXプレーシングの採用である。ルックスだけでなく、当時の鳴りを再現すべく内部構造まで手を入れた点に敬意を表したい

このギターはココを見よ!

DETAIL

1

V字型ネックシェイプ



DETAIL

2

ヴィンテージベリースタイルのブリッジ



DETAIL

3

経年変化を感じさせる仕上げ



DETAIL

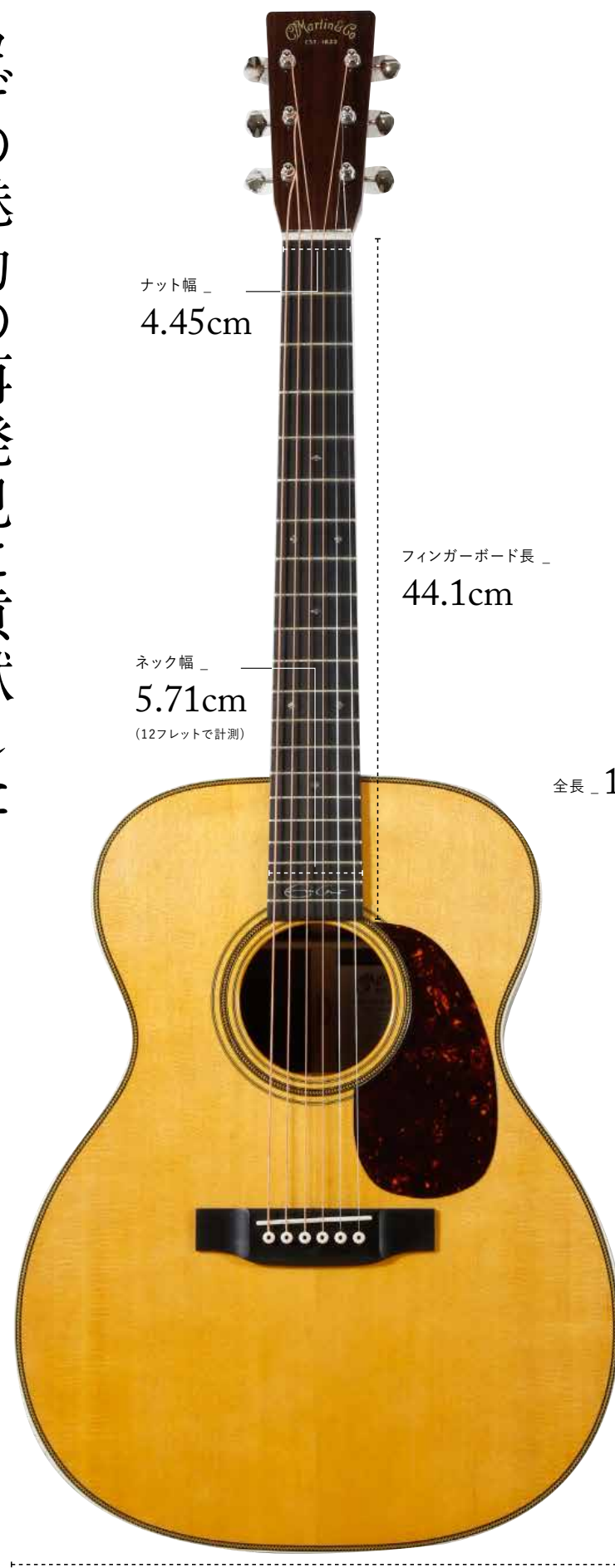
4

サイド&バックもD-28と共通



1.V字型のネックシェイプを採用。字形通りに尖った握りのネックで、個々のフィーリングで好みが変われるところ。2.ブリッジもヴィンテージ感あふれるものを採用。3・4.木材やボディサイズはスタンダードD-28と同一。ただしトップは、経年変化を感じさせるような仕上げ。バインディングも、ニシンの骨を模した伝統的なヘリンボーンを採用。その他、指板のインレイや、バターピーン・タイプのペグボタンとギアが露出したチューニングマシンなど、細部に至るまでヴィンテージをリスペクトした造り。往年仕様のXプレーシングは、スタンダードD-28との弾き比べで音色を確かめてみたい

アコギの魅力の再発見に貢献したクラプトンのシングルネチャーモデル。



ナット幅 _
4.45cm

フィンガーボード長 _
44.1cm

ネック幅 _
5.71cm
(12フレットで計測)

全長 _ 100.3cm

ボディ幅 _ 38.6cm



重量 _ 1.94kg



ボディ厚1 _
8.4cm

ボディ厚2 _ 10.3cm

Martin

000-28EC

価格：58万円(税抜)

1992年のMTVアンブラグドに出演したエリック・クラプトンが自前で用意したヴィンテージの000-42。クラプトンの新しい表現方法と、それを支えたギターが大いに注目され、マーティンは000-42ECという限定シングルネチャーモデルの発売を決定。レギュラー展開するラインとして1996年に登場したのが000-28ECだ。アコギの魅力の再発見にも貢献した記念碑的な一本である

このギターはココを見よ!

DETAIL

1

ネックはモディファイドV



DETAIL

2

短いスケールレンジ



DETAIL

3

トップはソリッドシトカスプルース



DETAIL

4

サイド&バックはソリッドイーストインディアンローズウッド



1・2.Dより短い24.9" (632.5mm) のスケールレンジで、Dより広い1-3/4" (44.5mm) の指板幅というユニークな仕様を与えられた000-28EC。このギターだけの音色を有していると言える。また、指板の20フレットに入るクラプトンのサインはこのモデルだけのボーナスだ。3・4.ヴィンテージテイストに満ちたマーキスコレクションに属する000-28EC。細部の仕上げはHD-28Vに準じているが、19世紀末に登場した0は、0 (シングルオウ)、00 (ダブルオウ)、000 (トリプルオウ) の順にボディサイズが大きくなっていく。Dモデルに比べて胴のくびれが深く、厚みが薄い。弦を弾いた瞬間に音が前に飛び出すようなサウンドを奏でる